

## 2019 年度 夏期 海外短期研修 募集要項

### 1 募集する研修

研修名	予定派遣人数	研修先	研修期間	研修実施機関
1. イギリス 夏期英語研修	6 (最小催行人数 4名)	ロンドン大学 アジア・アフリカ 学院	3 週間	School of Oriental and African Studies (SOAS), University of London International Foundation Courses & English Language Studies (IFCELS)
2. カナダ 夏期英語研修	15 (最小催行人数 10名)	ヨーク大学 附属語学学校	4 週間	York University English Language Institute (YUELI)
3. オーストラリア 夏期英語研修	15 (最小催行人数 10名)	マッコーリー大学 言語センター	4 週間	Macquarie University English Language Centre
4. タイ 夏期英語研修	16 (最小催行人数 10名)	チェンマイ大学 語学研修センター	4 週間	Chiang Mai University Language Institute
5. 夏期 ドイツ語研修	10 (最小催行人数 10名)	ウィーン大学 語学センター	3 週間	Sprachenzentrum der Universität Wien
6. 夏期 フランス語研修	8 (最小催行人数 6名)	リヨン・カトリック 大学 附属語学学校	4 週間	Université Catholique de Lyon Institut de Langue et de Culture Françaises (ILCF)

### 2 説明会等

名称	日程	時間	内容	会場 (南大沢 キャンパス)
海外短期研修 説明会 (英語研修)	4月11日 (木)	12:10 -12:50	英語 研修の概要について説明を行う。(事前申 込不要。入場の際は学生証を提示のこと。)	6号館 101
海外短期研修 説明会及び報告会 (ドイツ語・フランス 語研修)	4月12日 (金)	12:10 -12:50	ドイツ語・フランス語研修 について説明を行う。 また、前年度の本研修(ドイツ語・フランス語)に参加 した学生が、授業や現地の生活の様子、自由時 間の過ごし方等を報告する。報告会終了後は、 研修の様子を直接報告者に質問することもでき る。(事前申込不要。入場の際は学生証のこと。)	国際交流会館 大会議室
海外短期研修 応募説明会	4月16日 (火)	12:10 -12:50	海外短期研修への応募手続等について説明を行 う。(事前申込不要。入場の際は学生証を提示の こと。)	国際交流会館 大会議室
海外短期研修 報告会 (英語研修)	4月24日 (水)	12:10 -12:50	前年度の本研修(英語研修)に参加した学生が、 授業や現地の生活の様子、自由時間の過ごし方 等を報告する。報告会終了後は、研修の様子を 直接報告者に質問することもできる。 (事前申込不要。入場の際は学生証を提示のこ と。)	国際交流会館 大会議室

### 3 応募にかかる手続き

#### (1) 応募資格

- ① 本学学部又は大学院の正規課程に在学する学生（休学者を除く）であること。
- ② 語学力を高めるという目的意識を持ち、積極的にプログラムに参加する意志があること。
- ③ イギリス夏期英語研修の Academic Subject Course に応募する者は、応募時に中上級レベル（IELTS 5.5、TOEFL-iBT76、TOEIC 600 以上）の英語力を保持することが望ましい。また、Intermediate Reading and Writing に応募する者は、応募時に中級レベル（IELTS 4.5、TOEFL-iBT60、TOEIC 520 以上）の英語力を保持することが望ましい。

#### ※【障がい等を有する応募希望者の事前相談】

本海外短期研修に応募を希望する者で、障がい等を有する等、研修参加にあたり特別な配慮を必要とする方は、応募前にできるだけ早く国際課（南大沢キャンパス）に相談してください。

#### ※【日本国籍を有しない応募希望者等の事前相談】

本海外短期研修に応募を希望する者で、日本国籍を有しない、又は二重国籍を有する等の方は、査証（ビザ）の発給に関し特段の配慮を要する場合があります、さらに研修実施国への渡航が認められない可能性もあるため、応募前にできるだけ早く国際課（南大沢キャンパス）に相談してください。

#### (2) 応募受付期間（事前エントリーと応募書類受付）

**4月16日（火）～5月9日（木）17:00まで**

#### (3) 応募書類提出先、及び受付時間

国際課（南大沢キャンパス）：月～金 9:00 - 17:00（12:30 - 13:30を除く）

※日野・荒川キャンパス所属の学生は、各々のキャンパスの学務課教務係窓口で提出することもできる。

#### (4) 事前エントリー方法と応募書類

##### ①事前エントリー

応募志願者は、下記の Web システムにアクセスし、メールアドレスや携帯電話番号等の必要事項を入力して送信すること。

URL：<https://reg18.smp.ne.jp/regist/is?SMPFORM=ncpj-sbthm-d3b60d40a7ef9d2814855560cc58e077>

QRコード：



※海外短期研修にかかる大学からの連絡（重要事項を含む）は、派遣者決定後もそのアドレスに対して行うので注意すること。よって、メールアドレスおよび携帯電話番号を変更した場合は、直ちに国際課まで連絡すること。

##### ②応募書類の提出

事前エントリー終了後に、下記の応募書類を提出すること。

応募書類	留意事項等
1. 派遣申込書【様式1】	カラー写真（4x3cm）添付（裏面に氏名を記入のこと）
2. 志望理由書	志望動機及び研修計画を述べること。 （800 ～ 1000 字以内） 【書式】 Word ファイルのページレイアウトタブ中の原稿用紙設定で「マス目付き原稿用紙」を選択し、以下を指定。 ・文字数 × 行数 = 20 × 20 ・用紙サイズ = A4 ・印刷の向き = 縦 （氏名を明記しホチキス止めすること）
3. 時間割表（2019 年度前期） 【様式2】	「CAMPUS SQUARE for WEB」からダウンロードし印刷したもので可。
4. 同意書 【様式3】	
5. 受験票 【様式4】	
6. 成績通知書	所属する課程（学部・博士前期・博士後期）の2018 年度後期までの全ての成績を含むこと。「CAMPUS SQUARE for WEB」の「成績通知書照会」を確認し、印刷して提出すること。
7. パスポート（コピー）	※パスポート未取得、または残存期間が不足する場合は、派遣学生に決定次第パスポートの発給または更新を申請すること。この際、パスポート発給までに要する時間に注意すること（新規発給申請時の必要書類の一つである戸籍謄本又は抄本（原本）は、本籍地のある市区町村の役所で発行される）。特にタイ夏期英語研修参加にあたっては、別途ビザを取得する必要があるため、至急手続きを行うこと。
8. 学生証（コピー）	
9. 健康診断証明書（コピー）	※今年度本学で実施した健康診断証明書で可。（教務課前及び各学部設置されている自動機で発行可能。）
10. 語学能力証明書（コピー）	イギリス夏期英語研修に応募する者は、過去2 年以内に受験した英語能力試験のスコア（IELTS、TOEFL-iBT、TOEIC、英検、等）が記載された証明書を提出すること。イギリス夏期英語研修以外の語学研修に応募する場合も、語学能力証明書を保持している場合はコピーを提出すること。

#### (5) 応募書類作成及び提出にかかる注意

- ① 夏期海外短期研修において参加を希望する研修が複数ある場合は、併願することができる。併願を希望する場合は、2019 年度 夏期 海外短期研修申込書の「応募研修」の欄に1～3 の希望順位を記入すること。イギリス夏期英語研修に応募する場合は、Academic Subject Course か Intermediate Reading and Writing の何れかを選択すること（詳細は、イギリス夏期英語研修の概要ページを参照のこと）。
- ② 志望理由書以外の全ての提出書類は、黒色のボールペン又は耐水性ペンで、手書きで記入すること。（消せるボールペンは不可。）
- ③ 【様式1～4】は、国際センター・国際課ホームページの、“海外短期研修 スケジュール”のページからダウンロードすることもできる。

URL : [http://www.ic.tmu.ac.jp/study\\_overseas/st\\_schedule.html](http://www.ic.tmu.ac.jp/study_overseas/st_schedule.html)

QR コード :



④ 全ての提出書類は、コピー1部を控えとして各自保管しておくこと。

(6) 受験番号の通知

南大沢キャンパス国際課窓口にて応募書類を提出した学生は、受験票【様式4】に受験番号を記載する。

日野・荒川キャンパス学務課教務係窓口にて応募書類を提出した学生には、5月13日(月)17:00までに、eメールにて受験番号を通知する。

万一、期限までに受験番号通知が届かない場合は、<shortdoc@jmj.tmu.ac.jp>まで問い合わせること。

(7) 派遣学生の決定

応募者数が各研修の募集定員を超えた場合は、抽選の上、派遣学生を決定する。

※特定の研修先を、単願で応募することも、併願先の一つとして応募することもできるが、当該研修への当選確率は、単願で応募した場合の方が高くなることもある。

(8) 派遣学生発表

**5月14日(火) 12:00**

学生ポータルポータル掲示板への掲載、及び国際課前(南大沢キャンパス国際交流会館1階)の掲示により発表する。

(9) 海外短期研修経済支援金 ※給付型(返済の義務無し)

本研修における経済支援金給付の詳細は、首都大学東京海外短期研修実施要項で定められている。また、派遣学生は、以下の全てを履行した後に、海外短期研修経済支援金を受給することができる。

1. 経済支援金受給に必要な振込口座登録
2. 全ての説明会やオリエンテーション等への出席
3. 研修開始前・後の英語能力測定試験の受験(英語研修派遣者のみ)
4. やむを得ない事情がある場合を除く、研修先の授業及び課外活動(オプションは除く)への毎回の出席
5. 帰国後に実施するフィードバックミーティングへの出席
6. 海外短期研修報告書及びアンケートの提出

欠席は、原則として、正規授業への出席の場合以外認めない。無届の遅刻や欠席、また期限までの課題の提出を怠った場合、経済支援金を支給しない場合がある。なお、以下の通り、経済支援金の金額は研修により異なる。

プログラム	経済支援金	プログラム	経済支援金
イギリス夏期英語研修	90,000円	カナダ夏期英語研修	70,000円
オーストラリア夏期英語研修	70,000円	タイ夏期英語研修	50,000円
夏期ドイツ語研修	70,000円	夏期フランス語研修	70,000円

(10) 派遣学生決定後の予定

日程	時間	内容	会場 (南大沢キャンパス)
5月21日 (火)	12:10 -12:50	第1回オリエンテーション (オーストラリア) (研修の概要と申込手續について)	国際交流会館 中会議室
5月23日 (木)	12:10 -12:50	第1回オリエンテーション (カナダ)	国際交流会館 中会議室
5月24日 (金)	12:10 -12:50	第1回オリエンテーション (イギリス)	国際交流会館 中会議室
5月27日 (月)	12:10 -12:50	第1回オリエンテーション (タイ)	国際交流会館 中会議室
5月28日 (火)	18:00 -19:30	オーストラリア プレイスメントテスト	国際交流会館 大会議室
5月29日 (水)	12:10 -12:50	第1回オリエンテーション (ドイツ語)	国際交流会館 中会議室
5月29日 (水)	18:00 -19:30	研修前英語能力測定試験 (英語研修のみ)	1号館 350
5月30日 (木)	12:10 -12:50	第1回オリエンテーション (フランス語)	国際交流会館 中会議室
6月～7月	未定	外務省特別講演会 (危機管理)	未定
6月13日 (木)	12:10 -12:50	第2回オリエンテーション (カナダ) (学習面の準備と現地の状況等)	国際交流会館 中会議室
6月14日 (金)	12:10 -12:50	第2回オリエンテーション (タイ)	国際交流会館 中会議室
6月18日 (火)	12:10 -12:50	第2回オリエンテーション (イギリス)	国際交流会館 中会議室
6月20日 (木)	12:10 -12:50	第2回オリエンテーション (ドイツ語)	5号館 653 (独文演習室)
6月25日 (火)	12:10 -12:50	第2回オリエンテーション (オーストラリア)	国際交流会館 中会議室
6月26日 (水)	12:10 -12:50	第2回オリエンテーション (フランス語)	5号館 506 (仏文演習室)
7月 ～8月中旬	未定	第3回オリエンテーション (渡航上の留意点と危機管理について)	未定
8月～9月 海外短期研修			
9月上旬	—	報告書とアンケートの提出	—
9月中旬	18:00 -19:30	研修後英語能力測定試験	1号館
9月中旬		フィードバックミーティング	未定
9月下旬 ～10月中旬	—	経済支援金の支給	—

(11) 応募にあたっての注意

- ① 研修費用は、派遣学生数の増減、為替レートの変動等により変更される場合がある。
- ② 応募者は、保証人の同意を得たうえで同意書を提出すること。申込時に未成年の場合、保証人は保護者とする。
- ③ 応募資格について確認が必要な場合は、事前に海外留学相談室または国際課に相談すること。
- ④ 派遣学生に決定した後は、辞退することはできない。

- ⑤ 研修先が所在する国の治安・状況によっては、大学が、研修の中止、または研修中であっても途中帰国を決定する場合がある。このような事態が生じ得ることを理解し、万一の際は大学の決定及び指示に従うこと。
- ⑥ 派遣学生は、病気・事故・事件等の万一の場合に備え、派遣全期間（自宅出発日から帰宅日まで）について、本学の指定する保険会社及び補償内容の「海外旅行保険」と、本学の指定する「海外危機管理システム」に加入すること。また、上記の海外旅行保険の保険証券（コピー）を、渡航前に国際課に提出すること。さらに、上記の海外旅行保険が、研修先の指定する補償要件を満たさない場合は、併せて研修先が指定する保険にも加入しなければならない。
- ⑦ 日本国籍を有する派遣学生は、渡航前に外務省の運営する海外旅行登録システム「たびレジ」に登録を行わなければならない。日本国籍を有しない派遣学生は、渡航前に「たびレジ」への「簡易登録」を行わなければならない。
- ⑧ 派遣学生は、全てのオリエンテーション（研修前）、フィードバックミーティング（研修後）に出席のうえ、研修前・後に実施する英語能力測定試験（夏期 ドイツ語およびフランス語研修派遣者は対象外）を受験すること。
- ⑨ 応募者多数の場合、以下に該当しない学生が抽選に於いて優先される。
- ・国費外国人留学生
  - ・東京都年外交人材育成基金により受け入れられた外国人留学生
  - ・過去に実施した海外短期研修（春期・夏期）に参加した学生
- ⑩ 夏期海外短期研修は併願（第1希望から第3希望まで選択可）することができる。但し、イギリス夏期英語研修に応募する場合は、さらに Academic Subject Course か Intermediate Reading and Writing の何れかを選択すること（詳細は、イギリス夏期英語研修の概要ページを参照のこと。）
- ⑪ 2019年度 夏期 国際センター海外インターンシップとの併願はできない。

【問合せ先】国際課（南大沢キャンパス）

担当：中谷・片野

Email: shortdoc@jmj.tmu.ac.jp

月～金：9:00 - 17:00

（平日のみ。12:30 - 13:30を除く）

## イギリス夏期英語研修

研修実施機関	<p><b>ロンドン大学アジア・アフリカ学院(SOAS)IFCELS</b> : ロンドン</p> <p>School of Oriental and African Studies (SOAS), University of London International Foundation Courses &amp; English Language Studies (IFCELS) (<a href="https://www.soas.ac.uk/ifcels/summer/">https://www.soas.ac.uk/ifcels/summer/</a>)</p>
研修の目的	<p>本研修は、英語によるアカデミックスキル能力を高め、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。受講生は、1)学生自身の関心に応じて受講テーマを選択し、専門的な講義を受講する Academic Subject Course、または 2)アカデミック英語における読み・書きの能力向上を図り、大学での英語による授業にも対応可能な基礎力をつける Intermediate Reading and Writing のいずれかを選択する。</p>
研修の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>Academic Subject Course</u> 4 つのテーマ (1.Introduction to the Media 2.International Relations 3.Environment, Development &amp; Changing World Views 4.Global Business Strategy) から 1 つを選択し、講義とディスカッションを中心としたセミナー形式の授業を受講する。また、授業に臨むにあたり、それぞれのトピックに関わる用語や背景を理解するための English Language Support も受講する。(受講対象レベル(目安):IELTS5.5, TOEFL IBT76, TOEIC600 以上) ※ 派遣内定後に提出する研修先指定の出願書類 (SOAS Application Form(英語による志望動機の記述を含む)) の審査により、Academic Subject Course 受講に必要な英語能力に満たないと判断された場合は、Intermediate Reading and Writing を受講することとなる場合がある。</li> <li>○ <u>Intermediate Reading and Writing</u> 大学での授業などで使用されるアカデミックな英語についてのリーディング及びライティングの能力向上を目指す。(受講対象レベル(目安): IELTS4.5, TOEFL IBT60, TOEIC520 以上)</li> </ul>
期待する研修の効果	<p>アカデミック英語について、特定の分野におけるスキルアップを図り、英語運用能力の更なる向上や、将来的に中・長期の留学に必要な語学能力を習得することを期待する。</p>
研修期間	<p><b>2019年8月19日(月)～9月6日(金)</b></p> <p>旅程 (23 日間)</p> <p>[出国] 8月17日(土) 東京・成田空港発 / アムステルダム経由 同日 ロンドン・ヒースロー国際空港 着 [帰国] 9月7日(土) ロンドン・ヒースロー国際空港 発 / アムステルダム経由 9月8日(日) 東京・成田空港着</p>
宿泊施設	<p>Urbanest St Pancras (<a href="https://www.soas.ac.uk/accommodation/ug/halls/urbanest/">https://www.soas.ac.uk/accommodation/ug/halls/urbanest/</a>)</p>
参加費用	<p><b>約 590,000 円</b> (※為替・参加人数・燃油サーチャージ等によって参加費用が変動する可能性がある。)</p> <p>(内訳)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修費用 約 355,000 円 (参考レート £1 = ¥156.00 2019年3月現在) (授業料 £1,305、宿舎 £897、現地送迎費用 £450/グループ)</li> <li>・旅行費用 約 220,000 円 (燃油サーチャージ、空港税等含む。2019年3月現在)</li> <li>・海外旅行保険および『危機管理システム J-TAS』会費 12,425 円 (23 日間)</li> </ul>

## カナダ夏期英語研修

研修実施機関	<b>ヨーク大学付属語学学校</b> ：トロント York University English Language Institute (YUELI) ( <a href="http://yueli.yorku.ca/about/">http://yueli.yorku.ca/about/</a> )
研修の目的	本研修は、英語によるコミュニケーション能力を磨き、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。
研修の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ヨーク大学付属英語学校では、各自の英語力に応じてレベル分け（9段階）された4週間（週20時間）のアカデミックプログラムを他の海外から参加する学生と共に受講し、英語能力を高める。レベル6以上の学生は、ヨーク大学が提供する正規授業の聴講も可能である。</li> <li>○ ヨーク大学現役学生とのカンパセーション・パートナー・セッションを通して、授業で学習した英語の実践を行う。</li> <li>○ 英語コースに加え、課外活動として様々なアクティビティに参加し、カナダの文化、社会への理解を深め、グローバルな視野を広めることを目指す。（一部有料）</li> </ul>
期待する研修の効果	レベルにより学習目標（レベル1-5：英語学習の基礎となる4技能の向上。レベル6-9：大学入学準備講座）が設定されており、週20時間の集中的な英語クラスを通し英語運用能力の更なる向上や、将来的に中・長期の留学に必要な語学能力を習得することを期待する。
研修期間	<b>2019年9月3日（火）～9月27日（金）</b> 旅程（28日間） [出国] 9月2日（月）東京・羽田空港 発 / 同日 カナダ・トロント空港 着 [帰国] 9月28日（土）カナダ・トロント空港 発 / 9月29日（日）東京・羽田空港 着
宿泊施設	学生寮（ヨーク大学キャンパス内・シングルルーム）
参加費用	<b>約460,000円</b> （※為替・参加人数・燃油サーチャージの変動等によって参加費用が変動する可能性がある。） （内訳） ・研修費用 約310,000円（参考レート CA\$1 = ¥87.00 2019年3月現在） （授業料 CA\$1,800、宿舍 CA\$940、アクティビティ CA\$60、ミールプラン CA\$400、その他 CA\$285） ・旅行費用 約140,000円（燃油サーチャージ、空港税等含む。2019年3月現在） ・海外旅行保険および『危機管理システム J-TAS』会費 14,215円（28日間） ※上記参加費用に含まれないものとして、以下の費用を参加者に負担していただきます。 電子ビザ申請にかかる費用（実費）

## オーストラリア夏期英語研修

研修実施機関	<b>マッコーリー大学 言語センター</b> ：シドニー Macquarie University English Language Centre ( <a href="http://www.mq.edu.au/study/other-study-options/english-language-courses">http://www.mq.edu.au/study/other-study-options/english-language-courses</a> )
研修の目的	本研修は、英語によるコミュニケーション能力を磨き、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。
研修の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ マッコーリー大学英語センターでは、各自の英語力に応じて 5 段階にレベル分けされた 4 週間の英語コース（週 20 時間）を受講し、総合的な英語運用能力を高める。</li> <li>○ 企業見学、ブルーマウンテン山脈遠足等の課外活動を通じ、オーストラリアの自然・歴史・社会・文化について理解を深める。</li> <li>○ 現地の学生（パディ）、ホストファミリー等との交流を通じて、異なる文化に対する理解、及び実践的な英語によるコミュニケーション力の向上を目指す。</li> </ul>
期待する研修の効果	初級から中・上級の英語能力を持つ学生を対象とし、プレースメントテストにより編成されたクラスで「読む・書く・聞く・話す」の 4 技能を中心に総合的な英語運用能力の向上を目指すとともに、現地の英語話者との自主的且つ積極的な日常における交流を通じて実践的なコミュニケーション能力を高めることを期待する。
研修期間	<b>2019 年 9 月 2 日（月）～ 9 月 27 日（金）</b> 旅程（29 日間） [出国] 8 月 31 日（土）東京・羽田空港 発 / 9 月 1 日（日）シドニー空港 着 [帰国] 9 月 27 日（金）シドニー空港 発 / 9 月 28 日（土）東京・羽田空港 着
宿泊施設	ホームステイ
参加費用	<b>約 500,000 円</b> （※為替・参加人数等によって参加費用が変動する可能性がある。） （内訳） ・研修費用 約 325,000 円（参考レート AUD1 = ¥88.00 2019 年 3 月現在） （授業料 AUD1,428、宿舍 AUD1,510、アクティビティ AUD255、その他 AUD502） ・旅行費用 約 155,000 円（燃油サーチャージ、空港税等含む。2019 年 3 月現在） ・海外旅行保険および『危機管理システム J-TAS』会費 14,297 円（29 日間） ※上記参加費用に含まれないものとして、以下の費用を参加者に負担していただきます。 電子ビザ申請にかかる費用（実費）

## タイ夏期英語研修

研修実施機関	<b>チェンマイ大学 語学研修センター</b> ：チェンマイ Language Institute Chiang Mai University ( <a href="http://www.li.cmu.ac.th/">http://www.li.cmu.ac.th/</a> )
研修の目的	本研修は、英語によるコミュニケーション能力を磨き、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。
研修の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ チェンマイ大学語学研修センターにおいて、本学学生の英語レベルに合わせて編成される4週間の英語コース（1.Communicative English Program 2.Oral Presentation &amp; Public Speaking 3.English for Conversation）を受講し(週約 20 時間)、コミュニケーション力の向上とプレゼンテーションスキルの習得を目指す。</li> <li>○ 課外活動、フィールドトリップ、現地企業の見学、週末ホームステイ等を通じて、タイの自然や文化にふれ、異文化の生活を体験し、タイの歴史、文化、社会への理解を深める。</li> <li>○ チェンマイ大学の学生（バディ）との交流やホストファミリーとの交流等を通じて実践的な英語コミュニケーション能力を磨く。また、タイ語で現地の人たちとあいさつが交わせる程度のタイ語の基礎を学ぶ。</li> </ul>
期待する研修の効果	初級から中級の英語能力を持つ本学学生を対象に、特別に編成されたスピーキングを中心にしたコースであり、参加学生は2つのクラスに分かれて受講する。また、現地学生とともに学ぶ英語クラスも設けている。本研修においては実践的なコミュニケーション能力を養うとともに、自信を持って英語でプレゼンテーションができるまで英語力を高めることを期待する。
研修期間	<b>2019年8月26日(月)～9月20日(金)</b> 旅程(30日間) ※ <b>8月24日(土)集合</b> [出国] 8月25日(日) 東京・羽田空港 発 / バンコク経由 同日 タイ・チェンマイ空港 着 [帰国] 9月21日(土) タイ・チェンマイ空港 発 / バンコク経由 9月22日(日) 東京・羽田空港 着
宿泊施設	ホテルおよびホストファミリー(週末2泊3日)
参加費用	<b>約 260,000 円</b> (※為替・参加人数等によって参加費用が変動する可能性がある。) (内訳) ・研修費用 約 140,000 円(参考レート THB1 = ¥3.80 2019年3月現在) (授業料、アクティビティ等 THB 27,663.00、宿舎 THB 7,900.00) ・旅行費用 約 110,000 円(燃油サーチャージ、空港税等含む。2019年3月現在) ・海外旅行保険および『危機管理システム J-TAS』会費 14,297 円(29日間) ※上記参加費用に含まれないものとして、以下の費用を参加者に負担していただきます。 ビザ申請にかかる費用(実費)

## 夏期ドイツ国語研修

研修実施機関	<p><b>ウィーン大学 語学センター</b>：ウィーン</p> <p>Sprachenzentrum der Universität Wien</p> <p>( <a href="https://sprachenzentrum.univie.ac.at/en/german-courses/sommer-intensivkurse/">https://sprachenzentrum.univie.ac.at/en/german-courses/sommer-intensivkurse/</a>)</p>
研修の目的	<p>本研修は、言語と文化を結びつけたプログラムを通し、ドイツ語及びドイツ語圏の文化を学び、その理解を深め、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。</p>
研修の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ウィーン大学に併設された語学センターでヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）に基づく A1～C2(11 レベル)のクラスで、欧州地域をはじめ、世界諸地域から参加する学生とともに週平均 14 時間のドイツ語を受講する。</li> <li>○ オプションとしてドイツ語の特定スキル向上を目指すための特別クラス（発音、会話、文法 等）の受講も可能。（一部無料）</li> <li>○ ウィーンをはじめ、オーストリアの歴史、社会、文化への理解を深める。</li> </ul>
期待する研修の効果	<p>ドイツ語未修者から大学入学準備コースまで、初級から中上級のドイツ語能力を持つ学生を対象としたレベル別のクラス編成による授業を世界諸地域から参加する学生とともに受講し、実践的なドイツ語によるコミュニケーション能力を身につけることを期待する。</p>
研修期間	<p><b>2019 年 9 月 2 日（月）～9 月 20 日（金）</b></p> <p>旅程（22 日間）</p> <p>[出国] 9 月 1 日（日）東京・成田空港 発 / 同日 ウィーン国際空港 着</p> <p>[帰国] 9 月 21 日（土）ウィーン国際空港 発 ミュンヘン国際空港経由 / 9 月 22 日（日）東京・成田空港 着</p>
宿泊施設	<p>学生寮</p>
参加費用	<p><b>約 360,000 円</b>（※為替・参加人数等によって参加費用が変動する可能性がある。）</p> <p>（内訳）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修費用 約 130,000 円（参考レート：EUR1 = ¥136.00 2019 年 3 月現在） （授業料 EUR 482、宿舍約 EUR465）</li> <li>・旅行費用 約 205,000 円（燃油サーチャージ、空港税等含む。2019 年 3 月現在）</li> <li>・現地送迎費用 約 118,000 円／グループ</li> <li>・海外旅行保険および『危機管理システム J-TAS』会費 12,343 円（22 日間）</li> </ul>

## 夏期フランス国語研修

研修実施機関	<p><b>リヨン・カトリック大学 附属語学学校 (ILCF) : リヨン</b>          Université Catholique de Lyon, Institut de Langue et de Culture Françaises (ILCF)          ( <a href="http://www.ilcf.net/en/">http://www.ilcf.net/en/</a> )</p>
研修の目的	<p>本研修は、言語と文化を結びつけたプログラムを通し、フランス語及びフランス文化を学び、その理解を深め、グローバルな視野とグローバル社会への適応力を養うことを目的としたプログラムである。</p>
研修の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本研修のプログラムは、フランス語を母語としないフランス語学習者を対象としており、世界諸地域から参加する学生とともにフランス語の授業を受講する。</li> <li>○ ヨーロッパ言語共通参照枠 (CEFR) による入門から上級まで、多様なレベルの授業が開講されており、研修開始時にクラス編成テストが実施され、習熟度に応じて受講する。初級～中級 (CEFR レベル A1～B1) の場合、週 20 時間のフランス語を受講する。</li> <li>○ フィールドトリップなどの文化体験を通じて、フランス及びリヨン周辺地域の歴史・社会・文化について理解を深める。</li> </ul>
期待する研修の効果	<p>初級から上級まで、レベルごとに学習目標が設定されており、フランス語運用能力の更なる向上や、将来的に中・長期の留学に必要な語学能力を習得することを期待する。</p>
研修期間	<p><b>2019年9月2日(月)～9月27日(金)</b>          旅程 (29 日間)          [出国] 9月1日(日) 東京・成田空港発 /                    アムステルダム経由 同日 リヨン・サン＝テグジュペリ国際空港 着          [帰国] 9月28日(土) リヨン・サン＝テグジュペリ国際空港 発 /                    アムステルダム経由 9月29日(日) 東京・成田空港 着</p>
宿泊施設	<p>学生寮</p>
参加費用	<p><b>約 380,000 円</b> (※為替・参加人数等によって参加費用が変動する可能性がある。)          (内訳)          ・研修費用 約 160,000 円 (参考レート: EUR1 = ¥136.00 2019年3月現在)、          (授業料 EUR 649、宿舎 EUR415、現地送迎費用約 EUR560/グループ、その他 EUR9)          ・旅行費用 約 200,000 円 (燃油サーチャージ、空港税等含む。2019年3月現在)          ・海外旅行保険『危機管理システム J-TAS』会費 14,297 円 (29 日間)</p>



授業時間割表  
【2019 年度 前期】

学修番号：\_\_\_\_\_ 氏名：\_\_\_\_\_

時限／曜日	月	火	水	木	金
1 時限 (8:50-10:20)					
号(棟)－教室					
2 時限 (10:30-12:00)					
号(棟)－教室					
3 時限 (13:00-14:30)					
号(棟)－教室					
4 時限 (14:40-16:10)					
号(棟)－教室					
5 時限 (16:20-17:50)					
号(棟)－教室					
6 時限 (18:00-19:30)					
号(棟)－教室					

## 同意書

首都大学東京 学長 殿

私は、以下の事項 A～C について内容を十分に理解し、同意した上で 2019 年度 夏期 海外短期研修に応募いたします。

2019 年 月 日

学修番号 \_\_\_\_\_ 学生署名 \_\_\_\_\_

保証人は本同意書内の記載事項に同意し、また学生本人が同意事項を遵守することを保証いたします。

保証人署名 \_\_\_\_\_ (学生との関係: \_\_\_\_\_)

＜事項 A: 参加申込書提出前に特に留意すべきこと＞

1. 派遣申込者、並びに保証人は、共に募集要項を熟読し理解した上で参加申込を行うこと。
2. 派遣学生の決定は、本学が定める方法により、本学が行う。
3. 応募者は、海外短期研修に係る費用について十分理解し、保証人等の経済的負担者の了解を事前に得た上で派遣申込を行うこと。また、費用は定められた期日までに支払うこと。
4. 応募者は、派遣学生に決定後は辞退出来ない。
5. 派遣学生としての責務を怠った、または派遣学生として適当でないと学長が認めた場合、経済支援金の支給を取り消す場合がある。
6. 派遣学生は、派遣全期間(自宅出発日から帰宅日まで)について、本学の指定する保険会社及び補償内容の海外旅行保険と、本学の指定する危機管理システムに加入しなければならない。また、上記の海外旅行保険の保険証券(コピー)を、渡航前に国際課に提出しなければならない。さらに、上記の海外旅行保険が、研修先の指定する要件を満たさない場合は、併せて研修先が指定する保険にも加入しなければならない。
7. 派遣学生は、本学の研修運営、広報、危機管理等の情報共有のため、研修中の学修や生活情報を本学へ提供し、報告書、報告会及びホームページ等に於いて自身の体験を伝える等の協力をする事。
8. 海外短期研修に係る旅行手配、研修参加費用の請求、その他事務手続きは、主として本学が指定する旅行代理店(以下、代理店という)が行う。
9. 本学は、研修先での成績や語学試験の成績情報等を、研修先や試験実施機関から取得する。
10. 本学は、研修実施及び緊急時の対応に必要な範囲内で、研修先、代理店、宿泊先、運送機関、在外公館、旅行保険会社、危機管理支援サービス会社等へ個人情報を提供する場合がある。

＜事項 B: 派遣決定後から渡航までに特に留意すべきこと＞

1. 出発前から十分な健康管理を行い、既往症等がある場合は、医師の判断に従うこと。
2. 海外短期研修派遣にあたり、出席が義務付けられているオリエンテーションや説明会等には、全て出席すること。また、英語研修に参加する学生は、研修前後に、本学が指定する語学試験を受験すること。欠席は、原則として正規授業への出席の場合以外認めない。無届の遅刻や欠席があった場合は、経済支援金を支給しない場合がある。
3. オリエンテーション等で説明される、研修参加に必要な諸手続き(研修先に提出する各種書類の作成、パスポート、及びビザの取得、等)は、自らの責任に於いて行うこと。
4. 日本国籍を有する派遣学生は、渡航前に外務省の運営する海外旅行登録システム「たびレジ」への登録を行なうこと。日本国籍を有しない派遣学生は、渡航前に「たびレジ」の「簡易登録」を行うこと。

＜事項 C: 渡航後に特に留意すべきこと＞

1. 研修中は、本学の学生として責任ある行動をし、研修先での学業に精力的に取り組むこと。
2. 研修中は、滞在国の法令、研修先の規則、及び本学の諸規則を遵守するとともに、研修先の教員や事務担当者等の指示に従い、滞在国の公序良俗に反することのないように注意すること。
3. 研修先が所在する国や地域の治安や状況によっては、本学が研修の中止、または帰国を決定することがあるので、これ等の事態が生じ得ることを理解し、万一の際は本学の指示に従うこと。
4. 研修中は、本学が指定する宿泊先に滞在し、本学の了承無しに個人行動は行わないこと。また、第三国への渡航は行わないこと。さらに、研修中は、いかなる場合も車両(自転車を除く)の運転は行わないこと。
5. 研修終了後は速やかに帰国し、期限までに海外短期研修報告書とアンケート課題を提出すること。また、フィードバックミーティングに出席すること。課題の提出を期限までに行わない、また無届の遅刻や欠席があった場合は、経済支援金を支給しない場合がある。

【様式 4】

上下両方の表の太枠内を、ボールペン又は耐水性ペンを使用して記載し提出すること。

<b>2019 年度 夏期 海外短期研修 派遣候補者選考受験票</b>											
<b>受験番号</b> (国際課記入欄)	学部 研究科	学科・系 専攻・学域	コース 年次								
	<b>学 修 番 号</b>	<b>氏 名</b>									
	<table border="1" style="width: 100%; height: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>										
<p>【注意】</p> <p>この受験票は、2019 年度 夏期 海外短期研修 派遣候補者選考結果が発表されるまで大切に保管すること。</p>											



国際課控

<b>2019 年度 夏期 海外短期研修 派遣候補者選考受験票</b>											
<b>受験番号</b> (国際課記入欄)	学部 研究科	学科・系 専攻・学域	コース 年次								
	<b>学 修 番 号</b>	<b>氏 名</b>									
	<table border="1" style="width: 100%; height: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>										